



平成24年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月11日

上場会社名 株式会社 井筒屋 上場取引所 東 福
 コード番号 8260 URL <http://www.izutsuya.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)影山 英雄
 問合せ先責任者 (役職名)経理・財務部長 (氏名)白石 亮 (TEL)093-522-3414
 四半期報告書提出予定日 平成24年1月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年2月期第3四半期の連結業績(平成23年3月1日～平成23年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第3四半期	63,302	△3.0	2,022	4.3	1,615	11.2	619	△55.0
23年2月期第3四半期	65,290	△7.7	1,938	—	1,453	—	1,375	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年2月期第3四半期	5	.40	—	—
23年2月期第3四半期	12	.00	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
24年2月期第3四半期	72,211		6,247		8.7	54	.49	
23年2月期	71,111		5,602		7.9	48	.86	

(参考) 自己資本 24年2月期第3四半期 6,247百万円 23年2月期 5,602百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
23年2月期	—	—	—	0.00	0.00	—
24年2月期	—	—	—	—	—	—
24年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00	—

注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成24年2月期の連結業績予想(平成23年3月1日～平成24年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	87,500	△3.4	2,800	△14.3	2,200	△14.6	1,100	△56.1	9	.59

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3 「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 — 社（社名）、 除外 — 社（社名）

（注） 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

（注） 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

（注） 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年2月期3Q	114,804,953株	23年2月期	114,804,953株
24年2月期3Q	151,057株	23年2月期	148,844株
24年2月期3Q	114,654,528株	23年2月期3Q	114,659,138株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・業績予想につきましては、平成23年10月3日の決算発表時の業績予想から修正しております。詳しくは本日発表の「平成24年2月期通期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を及ぼす可能性のある重要な要因には、当社グループを取り巻く商圈動向、公的規制、自然災害・事故、金利の変動等がありますが、これらに限定されるものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 連結の範囲に関する事項の変更	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成23年3月1日～平成23年11月30日)におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による落ち込みの後、持ち直しの動きがみられておりますものの、世界的景気減速懸念や円高の進行等による影響は大きく、先行きにつきましても依然として不透明感が強い状況にあります。

百貨店業界におきましても個人消費の動向は厳しく、売上高は伸び悩み、いまだ回復に至らぬ状況にあります。

本年は当社グループが推進する「井筒屋グループ中期3ヵ年経営計画」の2年目にあたり、売上高が減少しても、営業利益を確保できる抜本的なコスト構造の転換を、引き続きおこなっております。

財務面におきましても、黒崎店別館土地など遊休不動産の売却を進め、キャッシュ・フローの増大に努めております。

当社グループの主要な事業であります百貨店業におきましては、「お客様第一主義」を基本とし、品揃えの強化を進め、販売サービスの向上をはかるとともに、ライフスタイルや商環境の変化への対応力強化に取り組んでおります。

本店におきましては、11月に「グッチ」をリニューアルし、集客力の向上に努め、黒崎店におきましても、10月に「黒崎井筒屋新店舗開店10周年記念大誕生祭」にあたり、東北3県の後援による「ありがとう みちのく物産展」を開催するなど、多くの方々にご賛同いただきました。

コレットにおきましては、9月にセレクトショップの「イツインターナショナル」を新規オープンし、集客力の向上に努めてまいりました。

また、井筒屋グループ全店において、当社ハウスカードでありますウィズカードの会員を対象とした「ウィズカード金利手数料0キャンペーン」を企画するなど、サービス向上に努めております。

こうした結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、売上高は63,302百万円、営業利益は2,022百万円、経常利益は1,615百万円となりました。四半期純利益は、固定資産売却に伴う「減損損失」および「資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額」等の特別損失の計上があり619百万円となりました。

当社グループは、引き続き「井筒屋グループ中期3ヵ年経営計画」を推進し、目標達成に向け、全従業員一丸となって努めてまいります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,100百万円増加し、72,211百万円となりました。これは主に売掛金と現金及び預金の増加と有形固定資産の減少によるものであります。負債については前連結会計年度末に比べて455百万円増加し、65,964百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加と借入金の減少によるものであります。純資産は前連結会計年度末に比べて645百万円増加し、6,247百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年10月3日に公表しました通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日発表の「平成24年2月期通期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

(注) 上記の業績予想は、この資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. その他の情報

(1) 連結の範囲に関する事項の変更

① 連結の範囲の変更

第2四半期連結会計期間より、連結子会社であった株式会社井筒屋外商サービスと井筒屋商事株式会社及び非連結子会社であった株式会社井筒屋総合保険は、株式会社井筒屋外商サービスを存続会社として合併し、株式会社井筒屋外商サービスとして連結の範囲に含めております。

② 変更後の連結子会社の数 6社

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法で算定しております。

③ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(会計処理基準の改正に伴う変更)

資産除去債務に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これにより、営業利益は5百万円、経常利益は6百万円、税金等調整前四半期純利益は412百万円減少しております。

また、当会計基準の適用開始による資産除去債務の変動額は421百万円であります。

(表示方法の変更)

(四半期連結貸借対照表)

前第3四半期連結会計期間において固定負債の「その他流動負債」に含めておりました「前受金」は、重要性が増したため、当第3四半期連結会計期間では区分掲記することとしております。なお、前第3四半期連結会計期間の「前受金」は7,128百万円であります。

また、前第3四半期連結会計期間において固定負債の「その他引当金」に含めておりました「商品券回収損失引当金」は、重要性が増したため、当第3四半期連結会計期間では区分掲記することとしております。なお、前第3四半期連結会計期間の「商品券回収損失引当金」は、664百万円であります。

(四半期連結損益計算書)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,496	4,471
受取手形及び売掛金	3,052	1,851
有価証券	14	14
商品	4,480	3,840
貯蔵品	29	18
その他	888	780
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	13,961	10,978
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,500	15,443
土地	24,956	25,363
その他(純額)	482	598
有形固定資産合計	39,938	41,405
無形固定資産		
投資その他の資産	548	672
長期貸付金	11,399	11,602
その他	6,510	6,585
貸倒引当金	△146	△132
投資その他の資産合計	17,762	18,055
固定資産合計	58,250	60,133
資産合計	72,211	71,111

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,628	7,332
短期借入金	1,797	2,181
未払法人税等	32	57
前受金	7,325	6,844
その他の引当金	317	248
その他	5,373	5,420
流動負債合計	23,474	22,085
固定負債		
長期借入金	34,478	35,005
再評価に係る繰延税金負債	4,271	4,341
退職給付引当金	1,138	1,268
商品券回収損失引当金	712	716
その他の引当金	183	274
資産除去債務	405	—
負ののれん	429	578
その他	870	1,237
固定負債合計	42,489	43,423
負債合計	65,964	65,508
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,532	10,532
資本剰余金	11,904	11,904
利益剰余金	△21,653	△22,401
自己株式	△21	△21
株主資本合計	760	13
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	19	15
土地再評価差額金	5,467	5,572
評価・換算差額等合計	5,486	5,588
純資産合計	6,247	5,602
負債純資産合計	72,211	71,111

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)
売上高	65,290	63,302
売上原価	48,662	47,296
売上総利益	16,627	16,005
販売費及び一般管理費	14,689	13,983
営業利益	1,938	2,022
営業外収益		
受取利息	193	188
持分法による投資利益	59	15
協賛金収入	28	50
負ののれん償却額	148	148
未回収商品券受入益	249	180
受取賃貸料	269	259
その他	159	124
営業外収益合計	1,107	967
営業外費用		
支払利息	681	633
売上割引	299	291
商品券回収損失引当金繰入額	210	132
その他	400	316
営業外費用合計	1,593	1,373
経常利益	1,453	1,615
特別利益		
投資有価証券売却益	9	—
役員退職金返上益	67	—
PCB廃棄物処理費用引当金戻入益	—	2
貸倒引当金戻入益	14	1
関係会社事業損失引当金戻入益	9	—
特別利益合計	101	4
特別損失		
固定資産売却損	4	—
固定資産除却損	55	154
減損損失	—	490
投資有価証券評価損	4	—
会員権売却損	13	—
PCB廃棄物処理費用引当金繰入額	24	—
構造改革費用	36	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	406
特別損失合計	140	1,051
税金等調整前四半期純利益	1,413	568
法人税、住民税及び事業税	38	17
法人税等調整額	—	△68
法人税等合計	38	△50
少数株主損益調整前四半期純利益	—	619
四半期純利益	1,375	619

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。